

令和7年度

バスで行く 人権教育現地学習会

を開催しました

岐阜人権擁護委員協議会
各務原地区部会



—最後は人間としての決断—

人道の丘公園 杉原千畝記念館

▲日にち 令和7年10月30日（木）

▲行き先 杉原千畝記念館 他

岐阜県加茂郡八百津町八百津 1071

「命と平和」について考えてきました

令和元年以来、コロナ禍で中止していた研修「現地学習会」を6年ぶりに開催しました。

今回の研修先は、多くのユダヤ人の命を救った日本の外交官 **杉浦千畝** 彼の人道的な精神と功績を称えて建てられた「杉原千畝記念館」です。命と平和について研修してきました。

ビデオルームで、映像「杉原千畝の人道」を視聴後、館内を見学し、「人道=困った人がいたら助ける」という彼の思いに触れ、「温かな気持ち」「日本人の精神の気高さ」として、清々しい気持ちになれたように感じました。

最後に、杉原千畝と同じ立場に立ち、「自分の前にいる人」を助けたいと決断し、「決断の部屋」で命のビザのスタンプを押してきました。



杉原千畝と「命のビザ」

ユダヤ人難民たちは、ナチスの迫害から逃れるため、日本通過ビザを求めてカウナスの日本領事館に押し寄せました。しかし、当時の日本外務省は、杉原千畝領事代理にビザ発給を許可しませんでした。彼は悩み苦しんだ末、外務省に背いてビザ発給を決断しました。そしてそのビザで、6,000人あまりの難民が救われたのです。

